



自治会がコミュニティ活動の「かなめ」

自治会は労住まきのハイツの**居住者全員のための活動**をしています。

そのため居住者全員の参加、協力が必要です。

自治会は労住内のコミュニティ活動が盛んになるよう「夏祭り」や「とんど焼き」などのレク活動の主催の他、コミュニティ活動をする諸団体を支援しています。

「子ども会」、「見守り隊」、「かけはし」、「あすなろクラブ」、「自主防災会」の活動費の一部を負担支援しています。

管理組合と自治会は持ちつもたれつの関係

管理組合は労住まきのハイツの建物、設備の維持管理のための組織であり、所有者全員が組合員になります。管理組合が機能的、効率的に運営されるかどうかは、居住者同志のコミュニケーションが潤滑かどうか大きく影響されます。また、マンションの場合、自治会が活発に活動していくためには管理組合の自治会活動への理解が必要であり、お互いに持ちつ持たれつの関係にあります。労住では 駐輪・駐車の問題、ペット飼育の問題、自主防災の問題に管理組合と自治会が共同で取り組んでいます。また、新集会所”集い”の新築は管理組合の全面的な応援がなければ、できなかったことだといえます。また、集会所の維持管理費用を管理組合が負担しています。

輪番制の理事・役員の実験で深まる理解

労住まきのハイツでは1998年から管理組合を住民主体の運営に切り替え、住民が直接その運営にあたっています。管理組合の理事も自治会の役員も1年交代の輪番制であり、住民全体がその役割を分担し、参加することからお互いの役割が理解でき、理事や役員を担当したことがきっかけでコミュニティ活動への参加をされ始めた方も多くあります。



住民全員の参加で豊かなコミュニティを築いていきましょう。